

平成 2 2 年

第 1 回 臨時 会 会 議 録

平成 2 2 年 2 月 1 5 日 開会

平成 2 2 年 2 月 1 5 日 閉会

江 田 島 市 議 会

招集年月日 平成22年2月15日
招集の場所 江田島市議会議場

会 議 録 目 次

2月15日（月）第1日

出席・欠席議員	1
本会議に説明のため出席した者の職氏名	1
本会議に職務のため出席した者の職氏名	1
議事日程	1
開 会（開 議）	3
諸般の報告	3
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
議案第1号 平成21年度江田島市一般会計補正予算（第5号）	5
議案第2号 平成21年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	22
議案第3号 平成21年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	25
議案第4号 平成21年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第2号）	29
閉 会	32

2月15日

2月15日(月) 午前10時00分開議

出席議員

1番	浜 先 秀 二	2番	上 松 英 邦
3番	吉 野 伸 康	4番	山 本 秀 男
5番	大 石 秀 昭	6番	片 平 司
7番	沖 元 大 洋	8番	野 崎 剛 睦
10番	林 久 光	11番	住 岡 淳 一
12番	山 根 啓 志	13番	登 地 靖 徳
14番	浜 西 金 満	15番	山 本 一 也
16番	山 木 信 勝	17番	扇 谷 照 義
18番	沖 也 寸 志	19番	新 家 勇 二
20番	上 田 正		

欠席議員

9番 胡 子 雅 信

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	田中 達美	副市長	正井 嘉明
教育長	万治 功	総務部長	酒永 光志
市民生活部長	西山 弘行	福祉保健部長	徳永 信幸
産業部長	島本 俊明	土木建築部長	幸野 潔
会計管理者	空久保博志	教育次長	重川 忠道
消防長	岡野 数正	企業局長	大越 静博
総務課長	土手 三生	財政課長	久保 和秀
企画振興課長	有馬 博之		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	玉井 栄藏
議会事務局次長	河下 巖

議事日程

日程第1	諸般の報告
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	会期の決定
日程第4	議案第1号 平成21年度江田島市一般会計補正予算(第5号)
日程第5	議案第2号 平成21年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
日程第6	議案第3号 平成21年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)

日程第 7 議案第 4 号 平成 2 1 年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算
(第 2 号)

開会（開議） 午前10時00分

○議長（上田 正君） ただいまの出席議員は19名です。

9番 胡子雅信議員から欠席の連絡が入っております。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成22年第1回江田島市議会臨時会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1 諸般の報告

○議長（上田 正君） 日程第1「諸般の報告」を行います。

田中市長から報告事項がありますので、これを許します。

田中市長。

○市長（田中達美君） 皆さん、おはようございます。

2月4日の立春もあっという間に過ぎまして、早、2月の半ばを迎え、梅の便りも聞かれる季節となりました。春の訪れが感じられる中、まだまだ寒い日が続くと思われませんが、皆さんも風邪など引かれないよう、体調管理に一層努めていただきたいと思います。

さて、平成22年第1回江田島市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様にはご出席をいただきましてありがとうございます。

また、市民の方々には、早朝からの臨時会の傍聴にお越しいただきまして、心からお礼申し上げます。

昨年の12月8日、第8回定例会以後の市政の主な事柄につきまして、10項目ご報告を申し上げます。

まず第1点目が、「江田島小学校落成式について」でございます。12月24日、江田島小学校屋内運動場で、江田島小学校の児童、先生、来賓及び学校関係者約450人が出席して、江田島小学校落成式を行いました。式では、児童全員が歌を合唱するなどして、新しい学び舎の完成を祝いました。新年1月から、最新の設備が整った新校舎で授業が始まっております。

2点目が、「江田島市市民憲章等について」でございます。まちづくりへの意識の高揚や市民の連帯感を深めることを目的として、市民憲章及び市の花、木、魚を12月25日付で制定しました。制定に当たっては、市広報紙やホームページ等で公募して寄せられた1,327件の意見結果を参考に、江田島市市民憲章等選定委員会で協議をし決定しました。

市民憲章は、美しい自然や教育文化、伝統を受け継ぎ、すべての人に優しい住みよいまちを築くための道しるべとして、また、市の花は「キク」、市の木は「サクラ」、市の魚は「カキ」として、市内外に広く積極的にPRを行い、本市のまちづくりや活性化につなげていきたいと考えています。

3点目が、「江田島市消防出初式について」でございます。1月10日、大柿町柿浦漁港埋立地で、「絆」をテーマに江田島市消防出初式を開催しました。当日は天候に恵まれ、例年を上回る約500人の市民が参観する中、市内の防災関係者601人、車両29台が分列行進した後、地域の小学生や住民が参加した消防訓練や赤、青、黄色に着色した水による一斉放水などを行いました。

今後とも市民の付託にこたえ、施設整備及び消防力の強化に努め、「災害に強いまちづくり」を進めてまいります。

4点目が、「江田島市成人式について」でございます。1月11日、市農村環境改善センターで、平成22年江田島市成人式を開催しました。当日は、成人対象者303人のうち194人が出席し、多くの来賓が参列して、二十歳という人生の大きな節目を迎えた新成人の門出を祝福しました。式では、新成人3人による「誓いのことば」の発表に続き、スポーツジャーナリストの義田貴士さんが、「夢に向かって」と題して記念講演を行い、成人式を盛り上げました。

新成人の皆さんが郷土愛をさらにはぐくみ、21世紀の担い手としてますますご活躍されることを願います。

5点目が、「生涯学習講演会について」でございます。1月24日、大柿公民館で、落語家立花家千橘さんを招き、「おもしろ落語笑百科」と題して生涯学習公演会を開催しました。当日は、約150人が来場し、落語をはじめ多彩な芸を鑑賞し、笑いの中に心豊かなときを過ごすことができました。

6点目が、「江田島市出身在京者懇談会について」でございます。1月30日、東京都内で、市議会議長、首都圏在住者11人及び市の特産品である3F（フルーツ、フラワー、フィッシュ）の生産者代表3人が出席して、江田島市出身在京者懇談会を開催しました。今回の懇談会では、生産者代表が生産から販売までの現状と課題についての説明や新しい品種のPRをした後、意見交換を行いました。在京者の皆様からは、「特産品の販売促進やブランド化によるイメージアップを図るためには、生産者と企業との共同による組織づくりが必要であり、工夫や発想の転換による新しい考えが大切である。」などの提言をいただきました。

本市と生産者が取り組むべき姿勢を示していただいたことに感謝するとともに、さらなる市全体の産業の振興に努めてまいります。

7点目が、「江田島市子ども議会について」でございます。2月5日、市議会議場で、第1回江田島市子ども議会を開催しました。これは、小中学生が、市民の意思の反映や住みよいまちづくりを進めるための仕組みである議会制民主主義を体験・学習することにより、次世代の地方自治の担い手として市政への参加意欲を高めるために、小・中学校及び市議会の協力のもと実施したものです。

当日は、市内13の小・中学校から21人の児童・生徒代表が子ども議会議員となり、市政全般について一般質問を行いました。市政への鋭い質問や小中学生ならではの柔軟な視点からの質問もあり、今後の市政への参考にしたいと考えています。

8点目が、「カキ祭などについて」でございます。2月7日、江田島町小用みなと公園を主会場に、江田島市カキ祭と中晩柑類の品評会が開催されました。当日は、2月と

は思えない陽気となり、約4,000人の来場者がありました。新鮮な農水産物の販売コーナーは大盛況で、カキをはじめ海の幸、山の幸などの各テントには長い列ができ、訪れた人に冬の味覚を堪能してもらいました。また、中晩柑類の品評会では、デコポンやネーブルなど146点の出品の中から特に優秀なものを表彰し、その後に行われた即売会ではすぐに完売となりました。ご協力いただいた関係機関、団体の皆様に感謝申し上げます。

9点目が、「各種定期総会等への出席について」でございます。このことについては、別紙1のとおり開催をされ、市長、副市長及び関係部課長が出席しました。

最後に10点目、「工事請負契約の締結について」でございますが、別紙2のとおり契約をしております。

以上報告を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で、市長の報告を終わります。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（上田 正君） 日程第2「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において7番 沖元大洋議員、8番 野崎剛睦議員を指名いたします。

日程第3 会期の決定

○議長（上田 正君） 日程第3「会期の決定」についてを議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日限りに決定いたしました。

日程第4 議案第1号

○議長（上田 正君） 日程第4「議案第1号 平成21年度江田島市一般会計補正予算（第5号）」を議題といたします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者からの提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました「議案第1号 平成21年度江田島市一般会計補正予算（第5号）」でございます。

平成21年度江田島市の一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億9,647万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ171億2,921万円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正)

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

内容につきましては、総務部長をして説明申し上げます。

よろしく申し上げます。

○議長(上田 正君) 酒永総務部長。

○総務部長(酒永光志君) おはようございます。それでは、一般会計補正予算第5号について説明いたします。

今回の補正でございますが、2月8日に開催された市議会第2回全員協議会で報告をさせていただいた、国が明日の安心と成長のための緊急経済対策として創設した、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」の事業として、地元の中小・零細企業支援による雇用安定や、市民の安心確保、環境対策のための事業費の補正と、昨年6月・9月議会で予算補正を行い、現在事業執行中の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」に係る事業費について、交付金充当額の精査を行い、交付金の執行残について追加事業をお願いするための補正が主でございます。歳入歳出それぞれ2億9,647万円の増額補正をお願いしています。

内訳につきましては、歳入歳出補正予算事項別明細書で説明をいたします。

22・23ページをお願いします。

最初に歳入からです。

14款1項1目民生費国庫負担金は11万5,000円の増額で、国保の保険基盤安定負担金の精算見込みによる補正でございます。

2項国庫補助金は、2目衛生費国庫補助金から、24・25ページに移りまして、8目の消防費国庫補助金まで、計2億8,776万5,000円の増額で、先ほど申し上げました地域活性化・きめ細かな臨時交付金に係る補助金でございます。地域活性化・経済危機対策臨時交付金につきましては、プラスマイナスそれぞれ計2,898万1,000円の財源更正をお願いをしております。

15款1項1目民生費県負担金は559万8,000円の減額で、国保の保険基盤安定負担金の精算見込みによる補正でございます。

続いて、26・27ページに移ります。

18款2項1目財政調整基金繰入金は6,433万8,000円の増額で、本補正の一般財源分として繰り入れをお願いをしております。

20款5項4目雑入は105万円の増額で、水産業施設維持管理事業費に係る地元負担金でございます。

21款1項3目土木債は5,120万円の減額で、過疎債の対象事業である下水道整備事業費が減額となったためのものでございます。

続いて、歳出に移ります。

今回の補正は、冒頭申し上げましたように、国の地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用した事業の補正と、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の事業費精査による財源更正及び追加事業の補正が主でございます。

事項別明細書 28・29 ページをお願いします。

1 款 1 項 1 目 議会費は 844 万 1,000 円の増額で、議会運営事業費として議場用マイクシステムを改修するものです。

2 款 1 項 1 目 一般管理費は 286 万 3,000 円の増額で、その内容は、庁舎維持管理事業費として本庁舎の書庫棟の屋上の防水事業、消防設備改修事業を計上しています。

2 目の文書広報費は 595 万 2,000 円の増額で、不足している文書庫を整備するための事業費を計上しています。

10 目 防犯対策費は 1,400 万円の増額で、小用バイパスの防犯外灯設置費を計上しています。

5 目、6 目及び 11 目につきましては、財源更正でございます。

続いて、30・31 ページに移ります。

3 款 1 項 1 目 社会福祉総務費は 230 万円の減額で、国民健康保険特別会計繰出金の減額でございます。保険基盤安定負担金の減額等に係るものでございます。

4 款 1 項 7 目 葬斎センター管理費は 693 万 7,000 円の増額で、その内容は、葬斎センターの照明設備や火葬炉の補修及び AED 1 台の設置費用を計上しています。

2 項 2 目及び 3 目につきましては財源更正でございます。

4 目のリレーセンター管理費は 919 万 3,000 円の増額で、リレーセンター設備の補修費を計上しています。

続いて、32・33 ページに移ります。

4 款 2 項 5 目 環境センター管理費は 1,318 万 1,000 円の増額で、環境センターの水処理施設や粗大ごみ処理施設の補修費を計上しています。

6 款 1 項 2 目 農業総務費は 1,471 万 9,000 円の増額で、その内容は、環境改善センターの上下水道接続工事と AED 1 台設置、沖美南農業団地のハウス修繕、交流促進センターの下水道接続事業費を計上をしております。

5 目 農村整備費は 240 万円の増額で、農道の舗装工事費を計上しています。

3 項 2 目 水産業振興費は 1,550 万円の増額で、その内容は、水産業施設維持管理事業費として、宮ノ原・大原・美能漁港の漁船係留施設の改修、三高港の漁船用補給施設の改修費を計上しています。

続いて、34・35 ページに移ります。

7 款 1 項 2 目につきましては財源更正です。

3 目 観光費は 795 万 5,000 円の増額で、その内容は、観光施設維持管理事業費として砲台山森林公園の駐車場の舗装工事費、ロッジの下水道接続工事費及び車両購入費として宿泊施設事業特別会計繰出金を計上しています。

8 款 2 項 1 目 道路維持費は 5,325 万円の増額で、道路維持管理事業費として橋りょう及び市道の維持管理事業費を計上しています。

2目道路新設改良費は1,950万円の増額で、道路改良事業費として市道改良費を計上しています。

3項1目河川維持改良費は7,881万6,000円の増額で、河川維持管理事業費として河川維持工事費を計上しています。

続いて、36・37ページに移ります。

8款4項1目港湾管理費は500万円の増額で、港湾維持管理運営事業費として、津久茂港の防波堤修繕工事費を計上しています。

5項2目公共下水道事業費は2,282万6,000円の減額で、その内容は事業費の減額に伴う公共下水道事業特別会計繰出金の減額補正を計上しています。

3目につきましては財源更正であります。

4目公園費は1,600万4,000円の増額で、公園維持管理事業費として公園遊具やフェンス等の維持工事費を計上しています。

6項2目住宅管理費は3,136万3,000円の増額で、市営住宅維持管理事業費として高架水槽や外壁の改修及び敷地内の舗装工事費を計上しています。

続いて、38・39ページに移ります。

9款の消防費につきましては財源更正をお願いしています。

10款1項3目につきましても財源更正でございます。

2項の1目学校管理費は93万4,000円の増額で、小学校施設管理事業費として柿浦小学校のトイレ改修工事費を計上しています。

3項1目学校管理費は191万9,000円の増額で、中学校施設管理事業費として江田島中学校の手すり設置や、能美中学校の床改修の工事費を計上しています。

続いて、40・41ページに移ります。

10款5項3目公民館費は586万9,000円の増額で、公民館管理運営事業費として中町公民館及び江田島公民館の維持修繕工事費を計上しています。

8目につきましては財源更正をお願いしています。

6項2目社会体育施設管理費は530万円の増額計上で、スポーツ施設管理運営事業費として江田島グラウンドや武道館の照明施設自動点灯盤や分電盤の修繕費を計上しています。

3目の学校給食費は250万円の増額で、給食センター管理運営事業費として備品購入費を計上しています。

予算の補正は以上でございます。

続いて、5ページをお願いいたします。

第2表として地方債補正を計上しています。

過疎対策事業債として事業費の減額に伴う下水道整備事業に係る起債の減額で、限度額2億1,660万円を1億6,540万円に変更するものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

16番 山木議員。

○16番(山木信勝君) まずですね、議案の数字の誤りなんかは毎回によくあるんですがね、これをどうにか直してもらわんといけんのじゃないですか。毎回のようにありますよ。まずそれを言うときです。

それではですね、本題に入ります。

まず、地方債についてであります。このたび過疎対策事業債が5,120万、まあ減額になっております。しかしながらですね、地方債残高、これは前年より上回っております。行革でですね、プライマリーバランスの黒字化を訴えておりますね、市の方は。そのようになってないじゃないですか。1億5,000万もオーバーしておりますよ。お伺いいたします。

次にですね、請負工事がこのたびもたくさんあるんですが、この契約者ですね、契約者、現場に行ってみれば契約者以外の方がまあ工事やっとする。ああいうのが多いですね。これ一括下請いとか、一括丸投げ、ピンはねいいますかね、何かそのように感じるんですね、我々とすれば。このようなこといいんでしょうか、お伺いいたします。

それからですね、このあいだ福山市の方で最低制限価格を下回って、1社のみが高額落札ということがありましたよね。江田島市ではそのようなことが今まであったのかどうかお伺いいたします。

29ページですね、本庁舎の修繕、何か防水工事ですかね、屋上の。あれをやるようになってるんですが、これからもそうした修繕が多くなると思うんですよ。そこでですね、曾根前市長のときに、本庁舎の建設については3年間凍結するというものでありましたよね。田中市長になって、まあその踏襲するのかどうか聞いていないので、どのようにするのかお伺いいたします。

それから、33ページにですね、沖美の南農業団地の改修、これがまあよくあるんですよ。これは最初にごみの埋め立ての上にあるからいうので、何かこう改修せないけんいうのが何回も出てきとんですがね。これはあのごみの上にああいう施設を建てるの無理じゃったんじゃないでしょうかね。お伺いいたします。

それから35ページの、市道やなんかの維持管理をやるということですが、まあ市道回ってみたらですね、アスファルトの石がね、出てる場所が多いんですよ。そういうところ全然やらん。市の方としてもどうですかね、道路パトロールもやっていないんじゃないかと思うんですがね。我々が住民に聞いたのを言うからやるいうんでね、絶対これパトロールしてもらいたいですね。お伺いいたします。

35ページに河川維持いうんがあるんですが、河川の浚渫やなんかもこれやるようになってるんでしょうか。お伺いいたします。

それから、38ページの消防費の財源更正、これが地域活性化・経済危機対策臨時交付金の対象にならなかったと聞いとるんですがね、これは調整の不十分じゃったんでしょうか。お伺いいたします。

それから、小・中学校のですね、このたびもいろんな、どういんですかね、補正が出ておりますけど、小・中学校費。もう小・中学校のあの空調どうしてもつけてくださいう声が多いんですよ。教員室にはついてね、先生方にゃ冬にはぬくい、夏には涼

しくしとると。それで子供たちには何もやっていないような、このようなことじゃ困るんじゃないかいうもん、保護者からの話がありますんで。その辺はどうなのかお伺いいたします。

以上です。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 庁舎の現在凍結しておる問題でございますが、言われたとおり、3年間凍結いうことでできております。多分この3月が3年の終わりじゃないんか思うんですけども、いずれにしても残り、合併しまして6年、今年度末で6年になりますので、その先をどうするかということについても、もう10年以内じゃいうことになりますと日にちがありません。そういったことで、新年度になりましたら特別調査の委員会を立ち上げてですね、どうしてもやる、建てる建てないどうするかということについての結論をもう出す時期が来ておりますので、それぞれ、役所側としても、また、議会側としても、そういう結論を出す、22年度でですね、一定の結論を出さんじゃいけないかいうような気がしておりますので、新年度に入りまして検討委員会を立ち上げたいというように思っております。

以上です。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） たくさんありましたので、それぞれが分担して回答をさせていただくようになると思いますが、最初に、議案書の間違いの関係についておわびを申し上げます。

このたび、下水道の特別会計の事項別明細においてですね、説明の数字の中で間違いがございました。訂正をしてですね、訂正文をお配りをさせていただいたと思っておりますけれども、おわび申し上げます。

それと起債のプライマリーバランスの関係につきましては、これは今の財政課長の方から説明をさせていただきます。工事費の一括下請、どうかということがございました。これにつきましては、一括下請は当然禁止はされておるわけでございますが、本市の場合そのようなことはないと思っております。

あと、今の福山の方で高額、1社のみ的高額落札ということがございましたが、本市の場合、入札を今までしておりますですね、1社だけ残って高額で契約したということとはございません。

次の本庁舎の修繕ということでございました。庁舎の建てかえの関係につきましては、市長が先ほどお答えしましたとおりでございますが、この本庁舎の修繕、今回の分につきましては、書庫の屋上の雨漏り、屋上に今シートを張って防水をしておるんですが、そのシートが一部めくれておりました、その修繕費がかかるというものでございます。

今の次の沖美南農業団地のことがございました。これにつきましては、旧沖美町で取り組んだ事業でございますので、私旧沖美町の出身でございますので、お答えさせていただきますが、これにつきましては、ご承知のように、ご指摘のようになりますね、ごみの産業廃棄物最終処分場の跡、土を盛りましてですね、そこをお借りして市がそのハウスを国の補助事業を受けて建設をした経緯がございます。ご指摘のようになりますね、埋立地

ということで、埋め立て後数年はまあ大丈夫ということでございましたけれども、やはり地盤等の緩み等が生じまして現在に至っておるのが現状でございます。これにつきましては、原因がどこにあるかどうか、毎年そういう補修費が発生しておるということがありますけれども、基本的に大きな台風等での災害でしたら、これは公共事業費でやっておりますので、補助債の対応になるわけでございますが、今回につきましてはですね、このきめ細かな臨時交付金が活用できるということがございますので、計上をさせていただいております。

私の方からは以上でございます。

○議長（上田 正君） 久保財政課長。

○財政課長（久保和秀君） ただいま議員からご質問がございましたように、本年度につきましては、プライマリーバランス、起債を借りる額とそれから償還する額が、大型事業がありまして、去年からの繰越金、さらには本年度のかかります新寄濤住宅とか学校関係の大きな予算を計上しておりまして、先の議会でもご質問いただきましたように、本年度に限りましてはプライマリーバランス、借り入れる額と返す額の逆転現象が起きておりますけれども、昨年までとそれから今後につきましては、そこらは十分配慮した予算を考えて実行していきたいと思っております。

以上です。

○議長（上田 正君） 重川教育次長。

○教育次長（重川忠道君） 空調設備についてでございますけれども、新しい建設されました学校につきましては、普通教室もいつでも入れられるように配備をしております。ただ、今現在、空調を設置しているところは保健室とか図書室、あるいはコンピュータ教室等には空調を入れております。また、児童・生徒の冬につきましては、石油ストーブですね、石油ストーブでまあ対応していると、また、夏の暑いときにはですね、今窓を開放しまして、それでまあ対応していると、どうしても今の建設の方、緊急にしなければいけないということがありますので、そちらの方を先に今整備をしておることとでございます。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 市道の舗装の傷みが目立つというご指摘でございます。これにつきましては、昨年、県のですね、緊急雇用対策制度、これを活用しまして臨時職員を雇いまして、市道をパトロールして、ポットホール、傷みがあったところについては緊急的にできるものについては、緊急的にその人たちにも修繕してもらっております。さらに、そのパトロールの結果に基づきまして、傷みの激しいところについては、このたびのきめ細かな交付金を活用して舗装していくように考えております。

それと、河川工事において浚渫を見込んでいるかというご質問がございました。浚渫につきましては、6月の経済対策交付金、これで緊急に浚渫が必要な箇所については、この6月、9月の補正の交付金をもって進めているところでございます。ただ今後、必要があればですね、来年度の修繕費等で取り組んでいきたいと思っております。それと、今回の河川工事については、去年の出水以後、どうしても護岸が緩んでいるところとか、そういったところ、石積みの護岸が緩んでいるところとか、そういったところを強化し

ていくという維持工事を考えております。

以上です。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） もう1点、消防費の関係で、交付金が活用できなかったかどうかということがございました。これにつきましてはですね、入札をかけたときに、備品購入、これは今の火災警報器等を配付するということで事業をやったわけですが、これが低い価格で落札をされたということで、その結果でその交付金自体がいわゆる余ったという言い方が正しいかどうかわかりませんが、それをこのたび減額となったものでございまして、対象事業からはずれたわけではございません。

終わります。

○議長（上田 正君） 16番 山木議員。

○16番（山木信勝君） 今のね、消防費の交付金の対象事業にならなかったかどうかですがね、対象にならなかったということで聞いておりますよ。何を考えておる、よく聞いてみなさいよ。

それからね。今の道路パトロールやっというんはね、どこ見に行ったんですか、あなたは。どこ見に行ったんですか、見ちゃおらんでしょ。全然やるようなこの、あれ入ってないでしょ、この補正にも。それからまだあります、3回ということで。

それから、最初のあの地方債についてですよ、地方債。プライマリーバランスの関係。あれはね、金額がどうなったことを聞きよんじゃないですよ。この行革に反しとるじゃないかということですよ。総務部長、いつも言うでしょ。黒字化になっておりますから大丈夫ですって言ったじゃないですが、こないだもね。そこら聞きたいんですよ。

お願いします。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） 先に消防設備の関係でございすけれども、臨時交付金を活用した事業は、高規格の救急車の整備事業、それと消防ポンプ車の整備事業、消防指揮統制車の整備事業、住宅用火災警報器の設置事業、それとAEDの整備、船外機付の救命ボート、潜水用ドライスーツ等がございまして、これらにつきましては、すべて交付金の活用事業として認識しておりますが、どちらの方でその対象になってないことと聞かれたのかどうかわかりませんが、私どもの方では対象事業として認識をしております。それと、プライマリーバランスのことでございすけれども、やはりこれは財政課長も申し上げましたように、特定の大きな事業が出てきますと、当然そのときにそのバランスは崩れる場合がございます。その大きな特定事業がないときにおいて、通常時におきましてはそのプライマリーバランスがマイナスにならないように十分配慮してやっていっておりますので、よろしく願いをいたします。

終わります。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） パトロールにつきましては、今手元に資料ございませんけれども、臨時職員の者からですね、市道ほとんど回って悪いところ、悪いところは写真を撮って、そういった記録を残しております。それに基づきまして、このたびの

きめ細かな交付金で来年度以降修繕していくようにしております。

○議長（上田 正君） 岡野消防長。

○消防長（岡野数正君） 先ほど山木議員のお尋ねの件でございますが、これにつきましては、今回消防本部で地域活性化・経済危機対策交付金で八つの事業を行っております。八つの事業。金額にいたしましては総額1億2,257万9,000円を交付金で扱っている、こういうことでございます。先ほど申されました対象になってないじゃないかということございましたけれども、これは決してそうではございません。あくまでも、入札残によるものだと、この782万2,000円の減額というのは、入札残によるものだというふうにご理解いただければと思います。で、議員が恐らくですね、一部対象にならなかったのがあるんじゃないかということでおっしゃいましたけれども、これは車両の手数料の部分ですね、一部数万円のところで、これはちょっと対象にならなかった、一般財源の方でこちらの方みております。また、こういったことの多分ご指摘ではなかったかと思えます。どうかご理解の方よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（上田 正君） 16番 山木議員。

○16番（山木信勝君） 最後になりますかね、今のじゃあ財源更正のことわかりました。今の道路パトロールの件ですがね、まあ見てないよ、ありゃあ。ま、見にきてくださいよ。また説明しますから。

以上、終わります。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

6番 片平議員。

○6番（片平 司君） この予算案ですけどね、普通今年度中に終わる予算になっとるんかいな、工事は。普通は、大体翌年度にまたがる場合は、繰越明許で出すんじゃないかと思うんじゃないけど、それが無いんじゃないけど、その理由とですね、それと説明の中身は今総務部長がしてくれたんですが、説明の中身をする前に、ここに書いてくれりゃあですね、いちいちせんでも済むんじゃないかと思うんじゃないけど、ここ書いてもらいたいんじゃないが、そらどなんかいということとですね、もう一つは、今回のあのきめ細やかな予算は、電柱の地中化とか、まあ林道ののり面の舗装とかあったんじゃないけど、江田島市はこの予算書見る限りにおいてはですね、電柱の地中化なんてのは全然まあ入っていないんじゃないけど、江田島市のその前の前は非常に電柱が立って邪魔くそになってやね、埋めるというふうなことは考えてないんかどうか、以上3点。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） まず、繰り越しの関係がございました。これにつきましては、このたびのきめ細かな臨時交付金につきましては、国が示したのが2月8日、これは閣議で示しております、補正予算が、国の補正予算通ったのがつい最近でございます。それで本年度の、一応予算的に本年度実施ということでございますので、今回急遽この2月15日補正関係を上げさせてもろうたわけでございますが、ご指摘のように、これは全額繰り越しになると思います。これにつきましては、繰り越し関係につきましては、3月の議会で繰越明許費のお願いをすることになっておりますので、今回その手

続には入っておりません。

それと予算書の中にですね、それぞれ事業費を入れておけば総務部長の方も説明が楽じゃないかというふうに、ありがたいお言葉いただきましたが、今回の補正でもですね、きめ細かな部分だけで62の事業がございます。それに合わせて経済危機対策の関係も4事業あるということですね、その一つ一つの事業を説明書の中に入れていくというのは、若干難しいといえますか、今までそういうことやっておりません。で、今後でもですね、事業費を説明書の中に入れていくことはですね、ちょっと難しいかなと思っております。それと、電柱、きめ細かな、このたびの国が示しておるのは、電柱の地中化でありますとか、森林関係の整備をいうことを明記しておりましたけれども、その後国からの文書等ですね、現在私どもが今回補正をお願いしておりますような、本当に今の地域の零細企業、中小企業の支援、そこらあたりに十分活用するよという文書もいただいておりますので、今回の補正に至ったわけでございます。電柱の地中化ということはですね、なかなか難しいことがございますので、今後の検討課題だと思っております。

終わります。

○議長（上田 正君） 6番 片平議員。

○6番（片平 司君） 事業の説明のところはね、まあ部長が楽になるけんいうのもあるんやけどね、私らもちょっと困ってるんよ。江田島市の、例えば武道館の修理はもう1個しかないからわかるけど、小学校の修繕じゃいうてもいっぱいあるからね。道路の改修・修繕て書かれとつてもやね、どこの道路やらわからんしやね、やっぱりこの説明書のところにね、説明を書いてもらいたいん、どうしてもやってもらいたいんですけど、どうなんですかねえ。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） きょう、じゃあそうしますということはなかなか言えませんので、あの検討させていただきたいと思います。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） この、こういう予算書関係の説明だけではなしに、先般も全員協議会とかこれからの委員会もあるわけなんですけど、それに提出する資料等がですね、大体今までは当日資料をお配りして、その場で考えてくださいよというような場面が多かったわけなんですけれども、まあ言われることも、私も議員をしておりましたので、非常によくわかるわけなんで、これは出せるものと当日にならんと出せないものと、事前に出せるものというのがそれぞれやっぱりあると思うんですよ。そういったことをよくまた検討しまして、委員会とか全員協議会で早目に出せるものはできるだけ早くその資料として出すようにですね、いたしたいと思います。また、予算書の中へ細かに書くというのは非常に、はっきり言いまして手間暇がかかる話ですね、日常のその財政下の中でそういったことをするいうと非常に手間暇かかりますので、これまでもしてきてなかったんじゃないかと思えますけれども、例えば別冊とか何とかいう形で出せるものはできるだけ資料を出すようにいたしますので、しばらく検討の時間をいただきたいと思います。

○議長（上田 正君） いいですか、はい。ほかにありませんか。

7番 沖元議員。

○7番（沖元大洋君） まず、先日の全員協議会のときに市長がおられなかったのも、再度市長にお伺いしますが、江田島市の魚がカキということで、市長どこで生まれたんですか。カキは魚ですか、いうことをお聞きします。よその都道府県行って、カキ魚言うたら恐らく笑われるじゃろうと思うんやけど。

それと、先日の小学生を対象とした子ども議会をやっておられます。このお子様たちが、この我々のような議会へ参加できるのに、恐らく20年ぐらいかかるんじゃないか思いますよ。20年後にこの江田島市が存続しておるかいないかいう、これ市長の見解で。

それと、先ほど山木議員の質問、道路。臨時職員を雇って、報告して、随時修理、補修しておると、基本的に道路なんか今盛んに掘り起こして、現状維持いうのを基本的じゃろうと思うんですよ。じゃが現状維持されておるんとしても、でこぼこ、がたがた。それともう場所言いますよ。大古小学校からオオマタに抜けるところの道、見てみなさい。50年前の道ですよ。そのように目の届かない道はほったらかして、ね、こういうメインストリートだけきれいにしたって、これびったれいう人間のやることなんです。清潔な人がやることは、ね、マットをはぐって畳をぞうきんでふいて、その後マットをきれいに、掃除機かけて、たんすでも引き出し一個一個たんすを抜いて、引き出しのほこりをふいて、これが掃除なんです。だけども、ほんとにきめ細やかな市民に対するサービス、目に見えないところがこれサービスなんです。

それと、去年の暮れか10月、9月か、忍谷さんのところから天理教行く道で人身事故がありましたよね。散歩中に河原へ飛び込んで骨折3カ所、入院4カ月しました、その方は。でも、人身事故が起きて初めてガードレールって、あの道ができて何十年なるよ。そういうふうな対処の仕方、私たちは臨時職員を雇って一生懸命やっておりますなんて、笑わしちゃいけないよと、こう言いたいような対処の仕方。なら、その件に関してもどのような資料が上がっておるのか、どのような箇所を修理しておるのか、文書、書類にして提出してください。

2点、市長の見解を。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） カキが魚かどうかいう話なんですけども、まあはっきりいえば魚じゃないような気がしますけども、ただ、きょう説明しましたように、公募をしますね、江田島市の魚は何がいいでしょうか言うて江田島市民の皆さんにお尋ねをしたら、カキという答えが返ってきたので、我々としては市民の一番多数の方の考えに従う、それが正しいんじゃないかと、正確に、その科学的に言やあ魚じゃないかもわかりませんが、まあ江田島市のかつて日本一のむき身の生産量があったカキ、それから漁業者の中でも、漁業の中でもカキの生産高が一番高いということで、市民の皆さんが一番海のことで考えると親しみを持っているのは、まあカキじゃないかということでカキを選んでいただいたわけなんで、審査委員会でもそういう結論を出していただいたので、答申していただいたので、そのような結論を出しました。

で、次、子ども議会ですけれども、あの子供たちが確かに言われるように議員になれるのは20年も、15年も20年も先になるわけですが、今の社会で非常に若い人たちが政治とかそういうことに無関心じゃないかというようなことがずっと言われております。選挙の投票率も非常に、この最近ずっと、最近いうのは10年も15年もそうですけれども、非常に投票率なんか低いわけです。これ国政、県、それから地方の選挙問わず低いわけなんで、子供たちに江田島市の政治、県の政治、それから国の政治についてですね、関心を持ってもらおうと、小さいときから関心を持たんとですね、大人になってもそのまま無関心でおるといような傾向がありますんで、江田島市の現状についても、子供たちにも理解してもらうために議会を開いたわけなんで、非常に私は有意義な会議じゃなかったかというように思っております。

以上です。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 市道のパトロール結果につきましては、これはまた議会事務局と資料の程度、量にもよります、提出する量に関係してまいりますので、議会事務局とも調整しまして、何らかの形で書類提供します。

○議長（上田 正君） 7番 沖元議員。

○7番（沖元大洋君） なぜ私が市長に、この子ども議会、20年後にこの江田島市が存続しておるのか否かを言いたくて、これまあ質問したわけではなくて、本質はそこにあるわけじゃない。今まさにここにおられる行政の幹部、議会の議員、傍聴者の方々、一人一人がこの江田島市を考え直さなきゃ20年後にはありませんよと、かの北海道の夕張市のごときまちになったときにはもうどうにもなりませんよと。先日、市長さんが柿浦の老人会の互礼会に出席されたときに、さも自慢気に職員を80名今5年間で削減したところおっしゃっておられた。何と情けない、議員は55、60%削つとるのに、我々議員は。だけでも職員はまだ500人、のうのうと、ぬくぬくと法に守られとるじゃないか。しかも、江田島市外から50人も60人も通勤してきて金を持って帰って、しても、ここで考えにゃいけないのは、うちたちはもうこの江田島市には財源は限られとるんですよ。したら、どういうことをまず考えるかということを入れることなんですよ。

先日も住宅課へ行って、広島からUターンして帰る人がおるんじやが、何とか法律がどうだ、ああだこうだ、そんなことより、連れに行っても来てください言わないけん状態じゃないんかと、市長とよう相談してみいやと、そんな悠長なこと言うて、そんなら、いなんわ言うたら、その家族は永久永劫これ江田島市に戻ってこんじゃろうが。いかにして江田島市に来てもらえるかいうことをみんなで考えにゃいけないのですよ。我々が85になって死んだときには1万3,000人しかおらんのですよ、この江田島市の人口いうのは。もうちょっときれいごとと言わんと、もうちょっとかっこつけんとどろどろになって、汗水流して努力するべきじゃないか思うんですよ。して私どもは、子ども議会をまあ例にとったわけなんです。

○議長（上田 正君） あの、沖元議員にちょっと申し上げます。子ども議会はこの予算審議に入っておりませんので、簡略をお願いをしたいと思いますんで。

○7番（沖元大洋君） そりゃあ簡略には言うんじやが、簡略に言うんじやが、じゃ

からわかりやすく今後の江田島市をどのように市長考えとるか、それなら簡略に答えてください。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 簡潔に答弁させていただきます。

これはもうだれも、家も個人の家庭も同じ、江田島市も同じ、県も国も同じですが、入ってくる金は決まっとります。要するに出ていく金をどれだけ抑制するか、入ってくる金と出てくる金のバランスだけの問題でございまして、実際にはたくさんのいろいろな要望があります。今言われたように市道の管理がなっとらんじゃないかと、そりゃ言われるとおりに、市道、皆さんが言われるとおりに全部舗装も新しくやりかえりゃそりゃ一番皆さん喜ばれますよ。ただ実際にはそれができないから、そしていろいろ皆さんに苦情、不便なこと、不便をさせとるわけなんで、簡潔に言いますと、入ってくるお金と出てくるお金のバランスをきちっと保つことが持続可能な、いつも言われる持続可能な江田島市につながるというように思います。

○議長（上田 正君） 7番 沖元議員。

○7番（沖元大洋君） その持続可能な江田島市であればいいんですが、まさにいつも私が口を酸っぱく言っとるように、現在5年間で350億の借金を抱えておる、これ持続可能と言えんと思うんですよ。そういうふうに借金、足らにゃ借金すりゃあだれでも市長できるじゃないですか。そこらどう。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） はっきり言いまして、借金もですね、何もこれ1年、2年でできたわけじゃないんで、戦後の60年かけてつくった借金ですから、多分返すんも60年かかると、私は今の政治の仕組み、役所の仕組み、それから市民のいろんな要望をですね、ある程度満足さすような仕組みで政治を行うと、多分60年かかると借金減すことはできんと思います。ですから、いつも市民の皆さんにも無理なことをお願いするし、議会の皆さんにも無理なことをお願いしますし、役所の職員にも、退職したら可能な限り不補充でですね、要するに入ってくる金と出てくる金のバランスをですね、ずっと考え、毎日毎日そのことばかり考えて市政を運営しとります。非常にそういったことで夢のない話になったりしますけれども、沖元議員が言われるように夕張のようにならんためには、最低必要なもんだけ事業していくというのが、これを守らんとですね、皆さんの要望をいいですよというように物事を進めていくと、私は夕張のようになりませんので、まあ私が少しは嫌われてもできないことはできませんというように、これからも言い続けていきたいというように思っております。

以上です。

○議長（上田 正君） 休憩します。今から10分間休憩します。暫時休憩。

（休憩 11時07分）

（再開 11時19分）

○議長（上田 正君） 質疑ありませんか。

5番 大石議員。

○5番（大石秀昭君） 33ページの2項のところ、道路パトロール、これはいつからいつ行っておるんですか。それをどのようにまとめておられるのか質問いたします。

○議長（上田 正君） わかります、意味。幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 市道パトロールの件でよろしいんですよね。これは、いつからというのははっきり覚えておりません、たしか9月ごろだったと思うんですけども、全市道を一応回しまして、先ほど申し上げましたけども、悪いところは写真を撮って記録に残しております。これも先ほど申し上げましたように何らかの形で資料を提出させていただきます。

○議長（上田 正君） 5番 大石議員。

○5番（大石秀昭君） そのようにまとめておるのであれば、なぜこの時期に住民からここを直してくれ、あっこを直してくれという注文が来るんでしょうか。高田の場合に、普通の町道と民間の道路と接点になつとる、そこは民間の土地だから直せませんと役所がしっかり説明して、初めて民間がほいじゃあうちが何ぼか出すけ一緒にやってくれということやるところが何か所もあるんです。で、昔の能美町の町道で水路と舗装面とが高さが違うから、道路面に水がたまって学生さんが通うときに車が通ると水が散るという状態で、そういう場合、側溝のコンクリ片をへずって下げんと水が流れないというような状態が起きるんですが、そういうところをパトロールしとれば、住民に説明して、もう少し待ってくださいということ丁寧の説明すりゃ待ってくれると思います、町民は。しかし、それを見て回ってここはあっこはこうじゃったと写真撮っただけで帰ってきたんでは、町民にわからんから、町民はもう1回おいあそこを、こうしてくれああしてくれという注文が来るんですが、そこらあたりどうでしょうか。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） データは今とっておまして、それをまた優先順位をつけまして、悪いところから、どこからやるかという優先順位をつけて、それでもってこのきめ細かな交付金を活用して来年度以降やるようにしております。それと、住民への説明が不十分ではないかということですけども、確かにおっしゃるとおりでございます。これについて、まあすべての住民に説明というのは大変難しいと思いますので、まずは議員さんをとおしまして、そのいろいろと情報提供なりをです、一緒にやっていただければと思います。よろしくお願ひします。

○議長（上田 正君） 5番 大石議員。

○5番（大石秀昭君） すべての住民に説明せえ言うんじゃない。その道路の地域の人に、隣接しとる人に説明してあげてくれと、そうすればその道路に隣接しとる人は不便だが待ってくれるわけです。それを能美町全部の人に説明せえ言うとするんじゃないんです。その地域の人に、悪い箇所の地域の人にはわかるように説明してあげてほしいという要望でございます。

○議長（上田 正君） 要望でいいですか。要望でいいね。

ほかにございせんか。

4番 山本議員。

○4番（山本秀男君） 2点ほどちょっとお尋ねします。

29ページの文書庫の整備ですが、これは具体的に倉庫か何かつくるんですか。具体的な事業の内容をお尋ねします。

それから、全体の今回の補正ですが、地元中小・零細企業の支援策ということで今回補正されるわけですが、規模がまあ3億5,000万ですか。地元の業者へ発注の予定かどうかということをお尋ねいたします。

以上です。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） はい、まず29ページの文書庫の関係でございますが、これは先般の協議会でも若干話はしたと思うんですけれども、現在、文書庫飽和状態になっておりますので、空き校舎、具体的に言えば秋月小学校の1階部分を活用させていただきまして、そこに文書棚を整理して文書庫として活用しようという計画でございます。それと、今の3億数千万円の工事業費について、地元のいわゆる請負かということがございました。これについてはですね、62事業計画しておりますけれども、そのほとんどを地元の方で請負をしていただくような準備しております。ただ、中にはですね、備品的なもので地元で調達が難しいような物があるかも知れませんが、これについては若干外の方へお願いすることになると思いますけれども、それについても、どう言うんですか、その問屋さん等が地元にございましたらそれを活用させていただき、このように計画しております。

○議長（上田 正君） 4番 山本議員。

○4番（山本秀男君） まず文書庫の設置、秋月小学校ということでございますが、今地元の方も部分的に使われておるんじゃないかないうように思うんですが、地元の方にはお話されておるのかどうかということをお尋ねします。

それから、さっきの地元の業者、地元の業者をぜひして活性化に役立つようお願いしたいと思います。

秋月小学校の件を。

○議長（上田 正君） 総務課長。

○総務課長（土手三生君） 秋月小学校への文書庫の設置につきましてですが、地元の方へはですね、区長さんを通じましてお話をさせていただきました、事前に。で、中の方にはですね、祭の関係の若干道具が入っておるんですが、その部分を違うどっか場所へ確保していただければ、その今実際に秋月小学校については、区としてもその部分については特に活用がないということで、区長さんの方からまた各いろんな関係者の女性会とか老人クラブとかいろんな団体があるんですが、そちらの方にも一応確認させていただきますよいうことを話し合いをさせていただきまして、一応区長さんの方から私の方には、活用策がないから文書庫として市の方で活用していただいてもよろしいということで了解は得ております。

以上です。

○議長（上田 正君） 4番 山本議員。

○4番（山本秀男君） 最後に、いわゆる500万、約500万追加しておりますが、いわゆる我が家で考えたら倉庫、書庫いうたら空いちよるところへ置きゃあ済むような

状態で、住民に直接、さあ役に立つかということになればちょっと疑問が残るわけで、他の方に考えていただいたらどうかのという点も含めてちょっと最後をお願いします。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） まあ5百数十万円の予定をさせていただいておりますけれども、やはり本市にはたくさんの部・課等がございまして、それぞれ一つの部がですね、相当の文書を抱えております。で、議員もご承知のようにですね、保存期間が当然文書にはございまして、それらを満足させるためにはですね、やはりそれ相応の面積と、それと文書棚が要ということでございます。そこらをご理解をいただきたいと思いません。

○議長（上田 正君） はい、ほかにございせんか。

19番 新家議員。

○19番（新家勇二君） 1点質問いたします。

35ページ、繰出金、宿泊費宿泊施設事業特別会計繰出金545万5,000円、ロッジ、能美ロッジですかね、の下水の接続工事費なんですけど、これは国民休暇村サービスへ管理委託している施設への接続になるので、ランニングコストの変更がかかってくると思うんですよ。接続すると今度使用料、そこらが契約内容が変わってきている、くると思うんですよ。そこらの理解が、休暇村サービスとの契約がどういうふうに変ったのかお願いをいたします。

○議長（上田 正君） 島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） これはあくまでも施設は市の施設でございます。で、施設を直すものですから、市がそれはやるものというふうにご考えております。そういうところは通常どおり、今までと変わりません。あの、使った者が払っていただくということで、契約上別に変ってはおりません。

○議長（上田 正君） 19番 新家議員。

○19番（新家勇二君） 今までは合併浄化槽か何かだったので、年に1回とか何かの点検料で済んだのが、今度月々の使用料になるとやっぱり量も多いんで金額がはるので、休暇村サービスの方から例えば年に10万円で済んだのが、年に300万も400万もなったらこりゃうちはみられませんよということになるじゃないですか。だから、そこらが理解を得られたのか、例えば市がこれは使用料はみるからつないでくれ、工事費が2,000万も3,000万もかかるからという意味もあってこういうふうにつながるようにされたと思うんですよ。だから、そこら理解は得られたのがどうか、それだけお願いします。

○議長（上田 正君） 島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） これについても検討はいろいろ、向こうにも協議をしております。で、私の記憶では下水の使用料は向こうで払ってもらおうようにしております。工事の関係はうちでして、はい。

○議長（上田 正君） いいですか。はい、ほかにございせんか。

8番 野崎議員。

○8番（野崎剛睦君） 財政調整基金なんですけど、これいわゆる自由に使える貯金、

ま、市の貯金なんです、このたび地域活性化・きめ細やかな臨時交付金を国の方から2億8,700万いただくと。それで財政調整基金を6,400万ほど取り崩しとるわけなんです、まあこの取り崩した後財政の調整基金の残高は幾らになるのか、それが一つと、そして、やはりこういう財政調整基金は基本的にある程度の金額は持つておかないとですね、まあこのように臨時的にあるときにやはりすぐ対応できないと思うんですよ。それで江田島市としたらですね、まあ3万人規模の自治体としてどのぐらいを持つてかかないといけないかということですね、ちょっと考えを教えてください、述べていただきたいと思うんですが。はい。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） まず最初にですね、基金をどれだけ持つておけばいいかということをございましたが、先般示しました財政の収支見込みといいますか、その中では5億円は確保したいということを明記しております。現状でございしますが、平成20年末の財政調整基金7億2,200万、小さい数字まで言いませんけど、7億2,200万円でございます。で、現在21年度の予算でもちまして、当初予算等に1億5,000万の繰り入れを予定をさせていただいております。その後、補正等、6月、9月補正、その折に約、これまで2億5,000万円ぐらいですか、充当を、繰り入れをさせていただくということで予定をしておりますけれども、20年度の収支の剰余金でございしますが、これを1億7,800万円ほど前年の剰余金処分ということでこれを新たに積み立てるようなことをしております。その結果、12月補正後でございすけれども、約5億6,000万円の財政調整基金の残高となっております。今回この2月補正で6,400万円程度を入れますけれども、残りが4億9,400万円という数字が出てまいります。ただこれはあくまで予算上の数字でございまして、この3月補正で、3月議会で補正をお願いしてまいります、この昨年6月、9月の臨時交付金、またこのたびのきめ細かな交付金、これの一般財源の持ち出しとして財政調整基金の繰り入れをお願いしておりますけれども、これらがほとんどの額が残となって繰り出しをしなくて済むようになると思います。今の3月現在、今予算の査定をしておりますけれども、これはあくまでも見込みでございしますが、3億6,000万円ぐらいは基金を繰り入れをしなくて済む予定でおります。そういう点から、最終的にですね、21年度末でどのぐらい残るかという、現状では約8億5,000万円から6,000万円ぐらいの財政調整基金の残高になるのではなかろうかと思って試算をしております。また、あわせてですね、21年度の決算が6月末で決算が終わります。で、決算をしてみますと、またその剰余金が出た場合には、その半額を来年度の9月議会でやはり剰余金処分として新たに積み立てることになると、このように思っております。

終わります。

○議長（上田 正君） はい、いいですか。ほかにございせんか。

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより、「議案第1号 平成21年度江田島市一般会計補正予算（第5号）」を起立により採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第2号

○議長（上田 正君） 日程第5「議案第2号 平成21年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）」を議題といたします。

この際、議案の朗読は省略をいたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました「議案第2号 平成21年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）」でございます。

平成21年度江田島市の国民健康保険特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9,085万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ42億2,890万1,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長をして説明申し上げます。

よろしく願い申し上げます。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 議案第2号の説明をします。

このたびの補正は、主に療養給付費と高額療養費を増額補正するものです。

はじめに歳出について説明します。

主なものとしましては、52・53ページをお願いします。

下の段でございますが、2款保険給付費1項療養諸費1目一般被保険者療養給付費を1億4,500万円の増額補正、その下、2目退職被保険者等療養給付費を900万円の増額補正。

54・55ページをお願いします。1番上ですが、2項高額療養費1目一般被保険者高額療養費を4,400万円の増額補正をするものです。

次に財源について説明します。

主なものとして、46・47ページをお願いします。

一番上、3款国庫支出金1項国庫負担金1目療養給付費国庫負担金として6,000万円の増額補正。2段目、2項国庫補助金1目財政調整交付金1節普通調整交付金として2,000万円の増額補正。一番下の段ですが、4款県支出金2項県補助金1目財政調整交付金1節普通調整交付金としまして1,000万円の増額補正。その下、2節特別調整交付金として1,800万円の増額補正。

48・49ページをお願いします。

一番上、5款療養給付費等交付金を5,100万円の増額補正。その下、7款共同事業交付金1目高額医療費共同事業交付金2節保険財政共同安定化事業交付金を1,000万円の増額補正。以上の増額補正につきましては、いずれも医療費が増額したためのものでございます。一番下、10款繰越金2目その他繰越金前年度繰越金を2,057万7,000円の増額補正、これは繰越金の額が確定したためのものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

6番 片平議員。

○6番（片平 司君） 49ページのですね、9款の繰入金のところ、保険基盤安定繰入金700万が、まあ減があるわけなんです、これ事業か何かをやめたとかいうことか、それと次、その下の2,000万円の前年度の繰越金、繰り越しがわかるのは12月にならなわからんということなん、大体4月で繰越金が入るんかなと思っと思ったんじゃけど、その辺のことと、55ページの8款保健事業費のこの420万円の減額になっとるわけなんです、これ特定健診の予算が1,400万で約三分の一、当初見込みより住民健診が三分の一少なかったんかまあどうか、その辺ようちょっとお尋ねしたい。

以上です。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 初めに49ページの保険基盤安定の繰入金の730万8,000円の減についてでございますけれども、これは軽減分です。保険税の軽減分でございます、軽減の額が確定したために減額になったということでございます。減額分を補助してもらいますけれども、減額分が確定して、もらい過ぎとったためにこれだけ減額になったということでございます。

それと、一番下の前年度繰越金でございますけれども、これは決算によって額は決まっているわけでございますが、このたびに補正をするというものでございます。

それと、55ページの特定健診の減額につきましてはですね、うちが予定しました特定健診の数と比べたらまあ31名の減になったわけでございますけれども、高齢介護課が実施しています65歳以上の健診があるわけですね。今の生活機能評価というのがあるんです、65歳以上の特定高齢者に対して。その方で今の医療費について、今の委託料ですか、この関係をそっちで払ったために、今のうちで組んどった、国保で組んどっ

た分が減ったということでございます。

以上です。

○議長（上田 正君） 6番 片平議員。

○6番（片平 司君） 大体意味はわかったんですけど、一つお願いというかですね、この去年もおととしもなんじゃけど、特定健診の受診者が少ないんじゃないかと、何か広報にもそういうふうに出ておったと思うんですよね。それで、まあやり方の問題が、その昔はまあ各地域でこうやっと思ったのを一カ所に集めてね、やるんで行きにくいとかいろいろあるんじゃないかと思うんで、その辺でね、もうちょっとその特定健診の受診者をふやすというふうな方向にいかんと、なかなかその予防保全にならないかと思うんで、その辺をちょっとですね、お聞きしたいんですが。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） この件につきましてはですね、アンケートをとってですね、どういう状態で参加できないかというのを結論を得まして、まあ21年度に対しましてはそれに基づいて一応PRをさせてもらったということございまして、一応予定者数としましては1,750人を一応は見込んだんでございますけれども、結果としましては1,719の方が受けてもらったと。で、受診率にしましたら25.61%になっていますので、まあこの21年度の目標は25%というのは一応クリアーしたというものでございます。

以上です。

○議長（上田 正君） 16番 山木議員。

○16番（山木信勝君） 51ページの一番上にですね、延滞金が373万6,000円あります。これはまあいいんですが、滞納額ですね、大体滞納額今どれぐらいあるんでしょうかお伺いします。税の滞納額。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 滞納は今ちょっと資料がないもんで申しわけございませんが後ほどということで、済みません。

○議長（上田 正君） 16番 山木議員。

○16番（山木信勝君） まあ前年よりね、あの少なくなっていないような気がするんですがねえ。もうしっかりそのところやっとするんかどうかなあ思うんですが。延滞金370万も入っとするし、頑張っとなれるとは思いますがね、どうでしょうか。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 大体滞納につきましてはですね、2名の方が嘱託で雇っております、月に大体200万円程度の収入を得ておるという状況でございます。それでもまだ滞納が残っるとというのが現実でございます。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより、「議案第2号 平成21年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）」を起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第3号

○議長（上田 正君） 日程第6「議案第3号 平成21年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）」を議題とします。

この際、議案の朗読は省略をいたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました「議案第3号 平成21年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）」でございます。

平成21年度江田島市の公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6,499万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億6,830万6,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

地方債の補正

第2条 地方債の変更は「第2表 地方債補正」による。

内容については、土木建築部長をして説明申し上げます。

よろしく申し上げます。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 議案第3号について説明いたします。

このたびの補正は、21年度分の歳入歳出の補正と、きめ細かな臨時交付金、これを合わせた補正でございます。

62ページをごらんください。

歳入に係るものでございます。

第1款分担金及び負担金を合計で255万円増額補正するものです。分担金・負担金は接続後一括納付または分割納付も可能でございますが、今年度は一括納付が見込みよりも多かったことから増額補正するものでございます。

次に、第2款使用料及び手数料でございますが、これは排水設備指定工事店の登録更新の手続が見込みよりも多かったことから、手数料収入を12万1,000円増額する

ものでございます。

第4款繰入金、これは一般会計でも説明がありましたけども、工事費が減額となることから一般会計からの繰入金を減額するものでございます。

次に第5款繰越金、これは20年度の決算に伴いまして636万1,000円増額補正するものでございます。

次ページをごらんください。

第7款の市債でございませうけれども、これも工事費が減額になりますので、それに伴いましての減額でございます。

もう1回次のページを開いていただきまして、歳出に係るものでございます。

第1款総務費につきましては、右端の説明欄にございませうけれども、負担金・分担金の一括納付が多かったことから、前納報奨金60万円を増額します。

一方で、浄化センターの電気代や委託業務の執行残を減額しまして合計で815万4,000円減額補正しました。

次に、第2款事業費でございませうけれども、5,639万円減額補正します。

このたび、きめ細かな臨時交付金を4,600万円追加計上するため、本来なら増額補正するところでございますけれども、21年度分の下水道整備にかかります委託や工事費の執行残が合計で1億239万円ございませう。結果として5,639万円の減額補正となります。

きめ細かな臨時交付金につきましては、これは新年度の公共下水道工事の単独工事費対応となります末端部の管渠工事に充当いたします。

次ページをお願いします。

まん中の第3款公債費は市債利子償還金が借入見込額の減少により45万円の減額となるものでございます。

再度、14ページに戻っていただきまして、第2表の地方債の補正でございませうけれども、これは歳出で説明しましたとおり工事費が減額となりますので、これに伴い限度額を減額補正するものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

16番 山木議員。

○16番（山木信勝君） 67ページのね、一番下の公共下水道整備費の中で、汚水管渠等築造工事1,300万、ここにきめ細かな交付金を入れるときいているのですが、この内訳をもう一度お伺いいたします。

それから、4,600万のうちもう一つ69ページに汚水管渠等築造工事850万いうのも入るとるようですが、この2点を説明をお願いします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 説明欄で非常にちょっと難しい数字に、説明しにくくなっているんですけども、細かく説明いたしますと、まず67ページの工事請負費の

汚水管渠等築造工事につきましては、これは江田島中央処理区の工事関係でございますが、ここで21年度分の減額が1,500万ありました。一方できめ細かな交付金を2,800万円増額しました。結果としまして1,300万円の増額となります。

次のページにも工事請負費、汚水管渠等築造工事ございますけれども、これは切申、それから大柿処理区の工事関係でございます、21年度分の執行残が、減が2,650万、一方できめ細かな交付金を1,800万追加しましたので、結果としてマイナス850万となります。

以上です。

○議長（上田 正君） いいですか。ほかにございませんか。

4番 山本秀男議員。

○4番（山本秀男君） 今回の単独管工事を今回4,600万追加ということでございますよね。で、単独管ということはやはり末端の管渠、おおむね3戸から5戸ぐらいの家庭のところですよね。そうすると4,600万ということはメートルが仮に4万6,000円とすれば約1キロ延長があるわけですが、事業費は、事業量はどれくらい考えておるんですか。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 先ほど、今ご指摘のとおり末端部につきましては、排水量が小さいものについては単独というルールで進めておりますので、今おっしゃったとおりでございますけれども、今言われた事業量、延長につきましては、今手元に数字がございませんので、申しわけございません。

○議長（上田 正君） 4番 山本議員。

○4番（山本秀男君） いわゆる単独管が4,600万の工事するほどあるのかどうか、補助対象管に影響を及ぼすところまで、まあこの交付金をまあ恐らく補助管も使ってもいいんじゃないかなとは思いますが、そういうことまで考えておられるのかどうかというところなんです。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） あくまで臨時交付金は単独工事、単独事業に充当するというのを基本で考えておまして、この交付金を補助対象となる管には充当することは考えておりません。

○議長（上田 正君） 4番 山本議員。

○4番（山本秀男君） 私の思いで、4,600万といえば先ほど申しましたようにね、約1キロぐらい延長がありやあせんかのうぐらい、そこまで工事があるのかどうかというのがちょっと疑問に思ったものでお聞きしたわけでございます。

それはまあそれであればいいんですが、それとあの前年度の繰越金見込額をお尋ねいたします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 繰越金につきましては、20年度の9月、昨年度の9月に決算をしたところでございますけれども、その額が6362という結果でございますので、このたび、62ページ見ていただければいいんですけども、62ページに昨

年度9月の決算で636万2,000円という数字でございますので、636万1,000円の追加補正という形になります。

○議長（上田 正君） はい、ほかにありませんか。

6番 片平議員。

○6番（片平 司君） 何ページかということはないんですけどね、まあ63ページ、この大柿町とか江田島の受益者負担金というのがあるんです。受益者負担金、これは各町にあった、どっかやね、いうんと受益者負担金とはそもそもどういうふうな使い方されるんかお尋ねしたいんですけど。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） まず負担金・分担金というものは、基本的に公共下水道事業を建設する際に、やっぱり受益者負担を求めるといような考え方がございます。そうしたら、大まかにイメージしていただくとしたら、100円の公共下水道工事があつたらば、10円分については地元負担でお願いするという考え方で進めております。それと、負担金・分担金という名称の違いは、公共下水道、江田島中央処理区については下水道法、都市計画法に位置づけられている負担金という考え方で名称がつけられています。一方で、切串とかそういったところは特定環境保全公共下水道、こういったものについては分担金という名称で整理して地元の負担をいただいているところでございます。

○議長（上田 正君） 6番 片平議員。

○6番（片平 司君） 公共下水道の分担金とか負担金をとるということはですね、例えば、昔でいう、今でもあるんじゃないけど、下水路とか排水路いうのがあるじゃないですか、これのいわゆる修理、補修はこの分担金とか負担金が充てられるんかどうか。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 下水道整備事業というのは、雨水・排水対策と汚水対策であります。汚水対策は受益者の負担金をいただいて建設費に充当しますけれども、雨水・排水対策、いわゆる都市下水道事業こういったものについては、これは公費で対応していくという考え方なんです。

○議長（上田 正君） いいですか、はい。ほかにございせんか。

これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより、「議案第3号 平成21年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）」を起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第4号

○議長（上田 正君） 日程第7「議案第4号 平成21年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

この際、議案の朗読は省略をいたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました「議案第4号 平成21年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

平成21年度江田島市の宿泊施設事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ545万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7,039万2,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、産業部長をして説明申し上げます。

よろしく申し上げます。

○議長（上田 正君） 島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） 議案第4号の説明の前に先ほどの新家議員の答弁で私の記憶間違いで一部説明不足がありましたので、補足をさせていただいてよろしいですか。

先ほどの下水道接続の件でございます。

休暇村サービスと指定管理者の契約締結した際は、ロッジは浄化槽で年間25万円の費用でよかったけれど、下水道にした場合は、月に25万円となります。負担が大きくなるので、このことについては、今業者で協議をしております。引き続いて協議をして負担割合を決める予定でおりますのでよろしく申し上げます。

それでは議案第4号 平成21年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第2号）について説明いたします。

歳入歳出補正予算書事項別明細書で説明いたします。

76ページ・77ページをお願いします。

歳出でございます。

第1款事業費1項管理費1目管理費を545万5,000円増額し、補正後2,663万2,000円とするものです。これは先般、2月8日開催の議会全員協議会で説明しましたように、きめ細かな臨時交付金を活用し、能美海上ロッジ、下水道接続工事を、また経済危機対策臨時交付金を活用し、能美海上ロッジの送迎用車両、これは平成5年に購入した10人乗りワゴンでございます。これが老朽化しているため購入するものがあります。

次に、74ページをお願いします。

歳入でございます。

第1款繰入金1項一般会計繰入金1目一般会計繰入金545万5,000円を増額補正するものです。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

7番 沖元議員。

○7番（沖元大洋君） これも先般の全協のときに市長が欠席されとったんで、市長に伺います。

このロジは既に皆さんご承知のとおり、第3セクターにいわゆる年間1,000万の、いわゆる補助を出しながらやってもらっておる。そこへこの交付金のきめ細か過ぎるようなことを平気でやっておられるんで、これ何で290万、車まで買って与えなならんのか、この290万があれば車いす10台をこさえて、市民のいわゆる車いすが必要とされておるお年寄り、体の不自由な方に対して貢献できるのではないかと思うんですが、ただやみくもに条例で違反じゃないから車買ってやったんだという問題じゃないと思うんですよ。条例に違反してないのも、車いすも違反していない。そしたらどっちをまず優先するかいうたら、まず困っている人、ほんとに心底困っておられる方にこの車いすを300万円分買い与える方が、市民のためにきめ細かいサービスになるのではないかと思うのですが、市長の見解をお伺いします。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 今回の国民休暇村へ指定管理をお願いする前にですね、ずっといきさつがあって、場合によったらもうサンビーチもそのまま閉鎖したまま、ロジも場合によったら閉鎖するかというような話もあったわけです。

話は少し長くなりますけれども、いろいろ議会にも議論をしていただき、討論していただきまして、まあ存続という形を、1,000万出してサンビーチ再開ということで存続することになったわけですが、最大の原因は、存続する最大の要因は、この島で働くところがないということが一番大きな問題だと。これを閉鎖するとですね、ロジの方で20人、サンビーチを再開すると10人、要するに30人の方の雇用が消えるか消えないかという議論を議会の中でもしていただきました。結果的には、執行部の考えと議会の考えが一致してですね、1,000万出して、ではやってもらおうということで、現在続けとるわけです。

先ほど説明しましたように、ロジの車がもう既に15年も16年もたって、沖元議員さんも一回見てもらえばわかるんですが、もうさびたりシートが破れたりしてですね、まあ一般的な常識で考えれば15年も16年も車を使うとですね、まあ商売する限りには、やっぱりお客さんにシートが破れたりとか、さびもぐれの車を走らすというのは、それはお客さんが来るのを来たくなくなる原因になるような、まあこれ普通一般的な考えで言ったらそういうようになりますので、今回の交付金がですね、非常に今までですと

使えなかった、なかなか議会の皆さんの同意をもらえんのではないかということで、ずっとぼろ車に乗ってお客さんを送迎しとったのを、今回はこういう国の交付金があったということで、この交付金を使わせていただくということで、車を、車両を購入するという、確かにほかにも必要なことはたくさんあります。車いす、確かに10台買えるかもわかりません。しかし、これはまた話は、それはそれ、これはこれで別ですね、我々としてはロッジを維持するというのが島の人間にとりまして非常に雇用の場、それから島内でも宿泊施設が大型の宿泊施設はほかにないということで、今日に至って車を買うというような予算付けをしたわけなんで、どうぞご理解をいただきたいと思います。

○議長（上田 正君） 7番 沖元議員。

○7番（沖元大洋君） 市と今の業者との間で使用する備品について、いわゆる買替時期3年後、5年後はどこまでの備品、恐らくこの自動車というのは会社の備品やと思うんです。どこまでをいわゆる市が保障するのか、1,000万に上乗せして、はし1本からね、車まで、一般市民はこの不景気の中、軽の10万か20万の車を1万か2万円の月賦で、私も30万円の軽を3万円の10カ月月賦で購入して乗っておりますが、その市民感覚の財布の事情と、国からお上から預かってくる財布を出すのと、なぜこのように、市長のポケットマネーからこれ300万出して買うちやるいうたら買わんでしょがね。そこら辺の感覚をもう少し、その契約内容とあわせてわかりやすく。

○議長（上田 正君） 島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） これにつきましては、国民休暇村、指定管理者とですね、基本協定を結んでおります。この中にですね、17条で備品の貸与というのがございます。ただ、貸与した場合は、備品台帳、財産目録へきちんと控えてくださいというふうに言っております。

それと、これとは別に修繕につきましては50万円以上は市の負担、それ以下については指定管理者の負担というのがうたっております。

私個人的には50万を一つの目安としております。ただ、やみくもに何でも50万以上なら買うかということではなくて、必要性、緊急性、それは十分検討して買うようにしております。

ということでご理解をいただきたいと思います。

○議長（上田 正君） 7番 沖元議員。

○7番（沖元大洋君） これもまたご理解か。ご理解、ご理解と言われましてもね、正直、あなた方財政で財布を預かる方が、一番市の財政がどのようになっておるか、市民はほとんどわからんのですよ。あなた方はすべてほとんどわかっておるはずなんです。だからご理解、ご理解しなさい言うたってねえ。やっとなることは大会社の財閥がやるような、私たちのイメージでは、ぽーんと300万、ね。貧乏人で借金もぐれの市がやる所作じゃないと思うんですよ。それなのに、わかりなさい、理解しなさい言うたってわかるわけがないでしょう。まあ、これは全員協議会のときに、私はさんざん、ここへ上程される、さすまいと思ってさんざん言ったんだけど、ここへ上げれば賛成多数で可決されるわけだから、今さらたらたらたら言っても始まらないのですけども、こういう市民が内容見たり聞いたりしたら、寒けがするようなことを平気でやらないよ

うに、もう少し考えてお金のやりくりをしていただきたいと思いますようにお願いします。
以上です。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより、「議案第4号 平成21年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第2号）」起立により採決をします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

閉 会

○議長（上田 正君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は、すべて終了しました。

これにて、平成22年第1回江田島市議会臨時会を閉会します。

ご苦労さんでした。

（閉会 12時17分）

地方自治法 123 条第 2 項の規定によりここに署名する。

江田島市議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員